

《第50回》 砂取校区7町内子ども会(2) 「公園清掃と七夕まつり」 育成会会長 潮崎 智子

令和4年7月9日 午前9時より 山の下公園にて公園清掃と七夕まつりを行いました。

砂取校区7町内では毎月1回老人会と子ども会合同で公園清掃を行っています。そのおかげで綺麗で過ごしやすい公園を保っています。今回も協力して綺麗にする事ができました。



コツコツとがんばっています

公園清掃終了後、七夕まつりを行いました。毎年、自治会から「笹」をご準備していただいています。今年も白木自治会副会長がご準備してくださった立派な笹に自治会の皆様と願いを込めた短冊を書き、飾り付けを行うことができました。

子ども達でお礼を言い、その後白木副会長より七夕まつりの由来のお話をさせていただきました。白木副会長からの問いかけに答えられるのは低学年の女の子達。季節行事の情緒を幼いながら理解していて感心しました。

例年であれば、公園内の憩いの家で七夕飾りを作成していたのですが、コロナ感染拡大防止の観点から各家庭で作成し持ち寄り飾りました。



↑ 笹



お願いと
飾りを皆で
取り付けま
した





七夕まつりのお話し(自治会副会長)



◎泳げるようになるように！



◎毎日健康にすご
せませうように！

(やはりコロナが心配で
すね)

その後、暑い中での楽しみ「スーパーボールすくい」を行いました。

こちらは感染拡大防止の観点から低学年より順番を決め行いました。

終了後、高学年のお兄さんが小さいお友達に自分のとったボールを分けている微笑ましい光景も見られました。



たくさん
取れているね



砂取校区7町内子ども会の活動は、自治会の方々からの多大なるご支援ご協力で楽しく活動しています。今回も子ども会から「七夕に関するお話」をお願いし、快く引き受けてくださりました。

子育て世代の大変さを理解していただき、支えていただける環境の下子ども会活動を続けています。

地域の方々に頼って頼られる、助けて助けられる、支え合って生きていく事を子ども達に伝えていきたいです。

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 活動報告有り難うございました。コロナ禍で行事の実施も大変だったことだと思います。そんな中に、感染リスクを出来るだけ減らす取り組みをされているのが素晴らしいです。例年ですと皆で集まって一緒に飾りや短冊を作っていたことでしょうか。しかし、コロナ感染拡大の中それができず、かと言って全てを中止ではなく、「家で作って持ち寄る」などの工夫をして季節の行事を実施されたことに敬意を表します。
- ② 定期的に老人会と一緒に公園清掃をしたり、自治会の方が今回は七夕まつりにいろんな支援をしたりと、子ども会がいつも地域の温かい絆で結ばれていることで、子どもたちが心豊かに育っているようです。高学年の子が小さい子にボールを分けている光景からもそれがよく分かります。これが正に地域の教育力の成果だと思います。
- ③ 育成会会長様が言うておられる「地域の方々に **頼って頼られる、助けて助けられる、支え合って生きていく……**」この相互関係がいいですね。理想の関係だと思います。この様な関わり方が、他の子ども会・自治会・老人会などにも広がって欲しいものです。
- ④ 砂取校区7町内子ども会・自治会・老人会の益々の交流の深まりと、子どもたちの健やかな成長をお祈りします。

令和4年度市子協総会 講演 田中晶子先生 のことばより

動機づけ理論の「**自己決定理論**」で重要な3つの基本的心理欲求
要するに「**動機づけを高める3欲求**」

今回の活動の場合	
・自分で決めた！	「 自律性への欲求 」⇒ ●七夕の願いを自分で考えて短冊に書く ●飾りを作る
・達成感があった！	「 有用性への欲求 」⇒ ●公園清掃で綺麗になる ●スーパーボールを取る ●綺麗な七夕飾りができた
・お友達と一緒にやった！	⇒ ●公園清掃、七夕まつり
・大人が見守っていた！	⇒ ●老人会、自治会の人と一緒に

「楽しい」や「わくわく」もっとやりたいと思うには... Motivation
動機づけ・やる気